

数学の教え方 069

▶ 2023.12.15(金)

【中学1年数学】

正負の数

「積の表し方」の指導をめぐって

フロローグ

生徒A子は…

先生のいうことを非常にすなおに学びます。そして、非常に素直に間違えます。

だから、生徒A子は…

「教え方の難しさ」をよ〜く教えてくれます。

先生にとっては、生徒A子は、「教え方」の”先生”です。

生徒A子：「…

そんなぁ…」

文字式では”×”は書きませんが…

きょうは「文字と式 積の表し方」の学習です。

生徒A子のノートをのぞいてみましょう。

(1) $c \times b = b c$

(2) $a \times (-2) = a - 2$

先生：「おい！おい！ $a \times (-2) = a - 2$ はないだろうが！」

生徒A子：「え！？

でも、先生は×の記号は省略するって教えてくれたでしょうが…

 $a \times (-2)$ の×を省略すると $a - 2$ にしかないんだけど、けど…。」

先生：「でも、数字は文字の前に書くって、その次に教えたでしょ。」

生徒A子：「あっ、そうだった、ころっと忘れとった。

じゃ、 $(-2)a$ だ。」先生：「 $(-2)a$ のかっこはいらないでしょ。」

生徒A子：「なして？」

先生：「あってもなくても同じだから。」

生徒A子：「じゃあ、あってもいいわけだ！」

先生：「# \$ % & ? ? ? …むっ！」

文字式では数字は文字の前に書くのですが…

という先生の”ありがたい”教えを、生徒A子、賢くも学びとって…

(ノートの続き)

$$(3) \chi \times 2 \times 3 = 2 \ 3 \ \chi$$

先生：「# \$ % & ???…ムッ!ムッ!!」

生徒A子：「だってえ、

先生は、×は省略して数字は文字の前に書けて…。」

先生：「だ～めだ、こりゃ!!!」

ジャン!ジャン! \(*^_^*) / ! (^o^)!

というような生徒A子にならないために

「文字を使った積の表し方」をしっかりと学びましょう。



◀●■【 まちがいをさせない教材 】■●▶

【中1数学・文字と式】

No. 8	2	文字を使った式の表し方（その1）	■	積の表し方①	■
No. 9	2	文字を使った式の表し方（その1）	■	積の表し方②	■
No. 10	2	文字を使った式の表し方（その1）	■	積の表し方③	■

■上の教材は、「教育エッセーMENU Essay_570, コンテンツ欄」よりリンクできます。

→ Link ▶ | [教育エッセーMENU](#) |

■演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導をしております。いつからでも受講できます。

「文字の使い方」をまちがえない数学専門指導

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX. (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp